

中学入試 国語説明

本文字数と難度について

第1回入試

説明的文章 物語的文章 漢字問題

総字数「約8700字」 昨年度 約8000字

第2回入試

説明的文章 物語的文章 漢字問題

総字数「約7000字」 昨年度 約7500字

基本的な注意点 共通

- ・実施時間 50分間
- ・時間配分が大切 どの問題から始めるか？
- ・設問傾向 オートドックスな出題
平成17年度より変わっていない 特徴4つ
言い換え 原因理由 空欄補充 漢字
- ・対策 過去問題の学習が必須→**解き方の確認**

では次に各設問のポイントを説明します

設問について【記述】

- ・第1回 100字以下の記述問題を**3問程度**出題
- ・第2回 100字以下の記述問題を**3問程度**出題
漢字について
トメ・ハネは見ない 誤字・脱字は減点
- ・対策:**記述の解き方**を把握しよう ポイントは2つ
 - 1 本文中から答えとなる文を発見しよう
 - 2 記述すべき事柄は必ず複数ある
- ・記述問題は部分点あり
→ **必ず挑戦を!**

設問について【選択肢】

- 特徴1 選択肢の問題を多く出題する
- 特徴2 選択肢の字数が多い
「勘」で解けるか？ **無理です...**
- ・対策:**選択肢の解き方**を把握しよう ポイントは2つ
 - 1 本文中から答えとなる文を発見しよう
 - 2 選択肢を分割して考えてみよう

書き取り問題の注意

「美しさ」より「**丁寧さ**」が大切

◎ 採点方法

文化庁の指針に基づいて採点します

『常用漢字表の字体・字形に関する指針』

まとめ 3つの大切

- ・50分間の使い方 時間配分が大切
- ・平成17年度以降の過去問題が大切
- ・記述、選択肢に対する 解法の確立が大切

皆さんの健闘を祈っています！

中学入試 算数説明

数学科が大切にしていること

1. 数の感覚

問. $\frac{21}{37}$ を小数で表したとき小数第2019位の数字は何？

- ① 37が111の約数, つまり999の約数であること
- ② 9が分母に並ぶ単位分数(分子が1の分数)は小数表示のとき簡単な規則性をもつこと

2. 式の意味

問. 2×3 をどのようにとらえるか？

- ① 1人2個のりんご, 3人いたら全部で何個か
- ② たて2, 横3の長方形の面積
- ③ さらに'×1'がかかれていて体積? (次元の感覚)

3. 拡張・一般化をすることで疑問をもち楽しむ

- ① 具体的なことから規則性をつかみ発展させ予想を立てる
 - ② いつでも成り立つものなのか疑う
 - ③ なぜこのような公式が成り立つのかに興味を持つ
- 'とける' から '説明する' への転換

今年度の入試について

① 解答時間 50分

→ ・大間で5問程度

・自分が解きやすい問題を把握して時間配分を考える

- ② 計算分野, 図形分野, 読解分野など様々な分野から出題
- ③ 計算力, 説明する力, 式や図形を見る力を付けておく

中学入試 社会説明

[第1問]	原始古代～近世の歴史総合問題
30点	政治史・社会経済史
[第2問]	近現代の歴史総合問題
30点	政治史・外交史
[第3問]	地理総合問題
20点	地図・統計・資料
[第4問]	公民総合問題
20点	政治と財政

1) 漢字の用語は正確に

①「漢字で答えなさい」

→ 漢字でないと×

②漢字指定なし

→ 漢字だけで書けない場合など

(例) 王政復古の号令

東南アジア諸国連合

※できる限り使える漢字は使いましょう！

2) 記述問題のポイント

③設問の要求を正確に読み取る。

(例) 富岡製糸場の設立と内国勸業博覧会の開催に共通する特徴と目的

ポイント

- ・特徴と目的が書き分けられているか？
- ・「内国勸業博覧会」という新知識を勉強してきた知識と関連させられているか？

3) 大切な学習方法

①学んできた知識と初めて見る資料を組み合わせる練習を！

②時間内に解けるよう過去問を解く

→ 40分で約50問

皆さんの健闘を祈っています。

中学入試 理科説明

本校理科の理念

卒業後、どのような進路をたどるにしても、**理科に関してアドバンテージ**がとれる生徒の育成を目指します。入学試験では、小学校で身につけるべき**正確な知識**、**実験手技**、そこから導き出すことのできる**論理的思考**と、それを相手に伝える**表現力**を問います。

SSH10年間の経験をいかしつつ、今後ますます理科好きな生徒が、理系に進む生徒が増えるよう、教材開発に取り組みます。

2019年
市川学園理科の入試が
変わります！

出題について

- ・試験時間は40分、100点満点。
- ・大問は4題
 - 生物分野1 地学分野1
 - 物理分野1 化学分野1
 (昨年までは7題)
- ・1つのテーマをじっくりと。
- ・小問総数は30題前後です。

問題構成について

- ・用語を問う問題
- ・計算問題
- ・記述問題
- ・身の回り(時事)の問題
- ・論理性を問う問題

をまんべんなく取り入れています。

問題レベル

- ・時間のかかる問題、かからない問題は存在します。
- ・出題例のない問題を考えています。
- ・各大問、基本→標準→応用となります。
- ・標準レベルの出来が決め手となります。

理科に限らず受験のセオリー

(本番では意外と実行できないものです…)

- ・入試の問題をAからDの4段階に分けて考えます。
- ・簡単なAとBをスピーディかつ正確に解きます。
- ・CとDを見極め、レベルが高いDは時間に余裕があったら手をつけるようにします。
- ・Cを半分正解すれば7割の合格ラインに届きます。
- ・そのためには、相当のトレーニングが必要です。

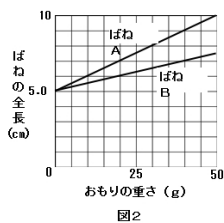


図2

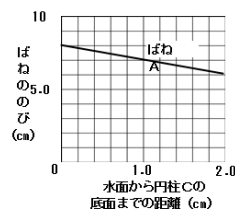


図4

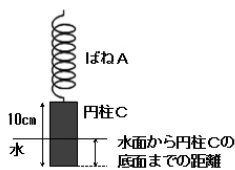


図3

円柱Cの重さは何gですか

表は、水の温度と、物質Aが水100gに溶ける最大の重さの関係を示したものです。

温度(°C)	20	40	60
物質A(g)	5.0	9.0	15.0

20°Cにおける物質Aの飽和水溶液が100gあった場合、何%の濃さになりますか。

対策

- ・標準的な問題集で基礎用語＋典型的な計算問題をトレーニング。
- ・数年分の過去問で慣れる。
- ・記述は、採点者に伝わる正確な語、文章で(部分点はありません)。
- ・問題文をよく読む。
- ・解ける問題から解く。
- ・得意分野で稼ぐ作戦もあり。



第1回入試(幕張メッセ)のポイント

- ・会場内に時計がありませんので、時計を持ってきて下さい。
- ・休み時間は気分転換を！⇒軽食・飲み物OK！
- ・トイレはたくさんあります。
⇒ 休み時間で済ませられます。
- ・鉛筆でもシャープペンでもOK！
- ・保健室も用意してあります。
- ・保護者控え室もあります。
- ・退場は受験番号順になります。
全体の退場は13:25ぐらいです。
お子様と待ち合わせ場所を決めておいて下さい。